

足尾植樹祭山行報告

【山行日】2016年4月23日(土) 晴れ
【集 合】 栃木市運動公園P AM 7:30
【費 用】 マイカー1台 : 500円
【メンバー】 CL: 渡辺ト、石田、岩淵、大西、
島田、鈴木ヤ、鈴木ユ、松館

【コースタイム】栃木市運動公園P7:30＝足尾植樹祭P8:45～銅親水公園9:00/11:45(植樹・昼食)
～足尾植樹祭P12:00＝栗生神社12:50/13:00～
栗生山13:45/14:05～栗生神社14:50＝
道の駅「くろほね・やまびこ」15:15/15:30＝栃木市運動公園P17:00



「おはよう」「おはよう」と、栃木市運動公園に足尾植樹祭参加者が集合してきた。
栃木インターから日光宇都宮道路を通り、日足トンネルをくぐり足尾植樹祭会場へ向かう。



駐車場に車を置き、開会式会場の銅親水公園広場に歩いて行く。例年通り東屋のベンチとテーブルを確保し、トイレを済ませて開会式が始まるのを待つ。時間があるので売店をのぞこうとすると、S田さんが美味しそうなコシアブラを買って戻ってきた。私たちも売店に行き、コシアブラやタラの芽を買い求めてきた。いよいよ開会式が始まり、主催者や来賓の挨拶が続いた。今年は来賓の方が多く、小山市長まで参加し、渡良瀬川の繋がりで遊水地の外来植物除去のPRをしていた。

主催者の挨拶の中で、今日の参加者が950名あったことが報告され、初日の参加者としては過去最高の参加者だと言っていた。最後に植樹のやり方や場所の説明の後、準備運動をして植樹会場へ向かう。私たちはシニア向けの下段の会場へ向かって出発する。入口で係のお姉さんから、植樹の木や土が入った袋、水が入ったペットボトルを渡された。工事現場のような階段を上り、段々になった斜面の中ほどでクワを借り横に移動する。以前植えられた木の間が空いている所を見つけ、クワで穴を掘り袋の土を入れてから木を植えた。「地に根を張り大きな木に育て」と祈りながら水をあげた。1本は針のような根しかない苗、もう1本は黒いポットに植えてある苗。「どちらも大きくなあれ」と心の中で祈りながら帰ってきた。



会場のベンチに戻りランチタイム。赤飯にきんぴら、筍の煮つけ、コゴミのおひたしに豚汁と豪華。食事を楽しんでいると、リポーターの方が来て「今日感じたことを何でも良いので聞かせてください」と言うので、「渡された苗に土が無いので、根付くか心配しながら植えました」と言うと、「あの木は



大丈夫です、ちゃんと根付きます」と答えてくれ安心した。食事の後コーヒーやお茶を飲んでゆっくりし、駐車場へ戻る。歩く途中で、奥の松木沢に松木村があり、そこに住んでいた人たちが一番初めに被害に遭ったことや、足尾から阿世湯峠を通り中禅寺湖まで行く道があったことを知り、勉強になりました。

足尾を後にして栗生山登山のため、栗生神社に向かった。途中の山々は新緑が素晴らしく、その中に薄いピンクの桜が点々と咲き心がウキウキする。

栗生山もきっと赤ヤシオが咲き乱れているだろうなと心が躍る。栗生神社に着き、登山靴に履き替えいよいよ登山。下山してきた夫人2人組に頂上の様子を聞くと、「今が満開、とても綺麗ですよ」と答えてくれた。でも大木の杉林の登山道を登っても、登っても花らしき木はなく心配していたが、尾根に登り上がるとピンクが目立ち始めた。

頂上まで登ると、北側斜面はピンク色に染まっていた。尾根の端まで行くと見事な赤ヤシオに大感激。今日のご褒美はこの花です。本当によく咲き誇っていました。有難う・・・と感謝し下山する。途中、道の駅「くろほねやまびこ」でトイレとお買い物し、帰路に着きました。

参加して下さった皆様、大変お疲れ様でした。



T・W記

